

報道関係者各位

2026年2月5日

ヒビノ、「ENHYPEN」の没入型楽曲体感ミュージアムの映像・音響・照明システムを担当。3D LED技術を核に、息を呑むほど美しい「超現実」の没入体験を実現

ヒビノ株式会社は、株式会社 HYBE JAPAN が 2026 年 2 月 5 日（木）より新宿住友ホールにて開催する、7人組グローバルグループ「ENHYPEN」の没入型楽曲体感ミュージアム「House of Vampire ～Dive into ENHYPEN Chronicle～」の映像・音響・照明システムを担当しました。株式会社 IMAGICA EXX による空間演出・体験設計の下、圧倒的な立体表現を可能とする 3D 対応 LED ディスプレイ・システム「Immersive LED System」や優れた色再現能力を備える超高精細 LED ディスプレイ・システム ROE Visual「Ruby1.5F」をはじめとする演出技術を提供し、映像・音響・照明システムの構築・運用並びに 3D 映像の撮影システムを手掛けました。本ミュージアムの空間演出構想を確かな技術力で支え、楽曲の世界観を高次元に具現化することで、来場者に現実世界を超越した没入体験を提供します。



© HYBE JAPAN

デビュー5周年を迎える ENHYPEN の軌跡を五感で楽しむ没入型楽曲体感ミュージアム

ENHYPEN は、デビュー以来、独自のヴァンパイアコンセプトで愛されているグローバルグループです。本ミュージアムは、「ヴァンパイア」のコンセプトと、これまでの楽曲世界を重ね合わせた、日本オリジナル企画の体験型イベントです。来場者は「同じ血族（コウモリ）」となってヴァンパイアの館に入り込み、彼らの物語（叙事詩）の一部を追体験します。デビュー作『BORDER : DAY ONE』から『ROMANCE : UNTOLD -daydream-』まで、ENHYPEN の音楽とストーリーをテーマにした 7 つの部屋を巡ることで、まるで登場人物の一人としてミュージックビデオの世界に入り込んだかのような、特別な体験をお楽しみいただけます。

新次元の没入体験を叶える、ヒビノの映像・音響・照明技術

ヒビノは、複数のエリアに区切られた 1,100 m²超のイベントホールに、圧倒的な立体表現を可能とする 3D 対応 LED ディスプレイ・システム「Immersive LED System」49 m²、広色域表色系を採用する 8K スーパーハイビジョン放送に近い色再現能力を誇る 1.5mm ピッチ超高精細 LED ディスプレイ・システム ROE Visual「Ruby1.5F」161 m²、レーザープロジェクター等の映像表示装置 18 台、スピーカー 39 台、照明装置 225 台などを組み合わせ、一つひとつのエリアにおけるストーリーへの没入を最大化するシステムを構築しました。

この高度な技術的アプローチを支えるのが、ヒビノが運用する没入体験を追求する研究開発拠点「Hibino Immersive Entertainment Lab」です。ここでは、3D LED 技術を核とし、最先端技術を取り入れた新しい没入型演出の創造と没入感の最大化に向けた R&D を日々重ねています。

今回の没入型楽曲体感ミュージアムでは、演出設計の意図を忠実に具現化するため、Hibino Immersive Entertainment Lab において HYBE JAPAN 及び IMAGICA EXX、ヒビノの 3 社共同で映像・音響・照明技術の効果実験や最適な組み合わせに関する綿密な検証を実施しました。ヒビノが保有する膨大な最新鋭機材と R&D で得られた具体的な知見は、イベント全体の没入度を飛躍的に高める技術基盤となっています。

最大の見どころは、革新的 3D LED 技術「Immersive LED System」の圧倒的な没入体験



第五章：告白の中庭 © HYBE JAPAN

本ミュージアム最大の見どころとして 5 つ目の部屋「第五章：告白の中庭」に、幅 10.2 メートル、高さ 4.8 メートルの Immersive LED System が採用されました。

Immersive LED System は、ヒビノが運用に関する技術ライセンスを持つ、アメリカ Liminal Space 社の三次元 LED 技術「Ghost Tile」を搭載した 3D 対応 LED ディスプレイ・システムです。従来の 3D 表現を凌駕する立体効果に加え、現実の人や照明などの演出機器を組み合わせられる画期性を有しており、リアルとバーチャルが融合した、極めて没入度の高いエンターテインメント体験を提供します。

この体験を深めている技術の一つが、独自の円偏光フィルターを採用した専用 3D グラスです。高い透過率でクリアな視界が保たれるため、体験者は現実の空間を正確に把握しながら、その中に出現する立体映像や、シームレスに奥深く広がる仮想世界を同時に体感することができます。

上映する ENHYPEN の 3D 映像は、ソニーのハイエンドシネマカメラ「VENICE 2」と新たに導入したカメラヘッド延長システム「VENICE エクステンションシステム Mini」を 2 セット用いてステレオ撮影を行いました。小型カメラヘッドを用いることで、これまで難しかった、2 台のシネマカメラを人間の平均的な瞳孔間距離（約 64mm 間隔）に設置することが可能となり、自然で臨場感のある 3D 効果を発揮する 8K 高画質映像の撮影を実現しました。

ENHYPEN の撮影に先立ち、Immersive LED System を常設する「Hibino Immersive Entertainment Lab」にコンテンツ制作チームを招き、実機の確認と技術的な擦り合わせを実施。撮影とコンテンツ制作の両チームが Immersive LED System の特性を最大限に引き出すプランを設計し、万全の体制で制作を開始しました。

海外で行った撮影の期間中も、Hibino Immersive Entertainment Lab ではリアルタイムに映像の 3D 効果を確認し、日本から綿密な撮影のコントロールを行いました。さらに、撮影後もコンテンツ制作チームと実機環境における技術検証を重ねることで、3D 表現の完成度を追求。一連の徹底した精度管理によって、本ミュージアムに適した立体表現を持つ高品質な実写 3D 映像を完成させました。

この 3D 映像技術により、メンバーの存在感や世界観が視界一面に広がり、来場者はどこを見ても作品世界から逃れられない“感覚が支配されていく”ような圧倒的な没入感が実現しています。本ミュージアムのために撮り下ろされたビジュアルと革新的な 3D 映像技術で、息を呑むほど美しい「超現実」の世界へ引き込みます。

本ミュージアムは、ENHYPEN ファンの皆様はもちろん、先進的な演出技術を駆使した体験型イベントに関心のある方にも、楽しんでいただけるイベントです。ぜひご体験ください。

取締役コメント「イマーシブエンターテインメントを戦略事業に据え、新価値創造を推進」

取締役 常務執行役員 コンサート・イベントサービス事業ヒビノビジュアルグループ担当 芋川 淳一

この度、体験のハイライトとして採用いただいた「Immersive LED System」は、ヒビノグループが日本と北米を拠点にレンタルを展開するシステムです。2023 年 11 月の運用開始以来、コンサート・イベントに精通する当事業グループの営業基盤を活用し、コンサート、展示会、アートプロジェクト、大阪・関西万博などへ導入を広げ、お客様から「これまでにない 3D 効果を感じた」、「3D 酔いなどのストレスなく楽しめた」といったインパクトと快適性の両面で高い評価をいただけてきました。今回の HYBE JAPAN 様、IMAGICA EEX 様との連携により実現した「House of Vampire ~Dive into ENHYPEN Chronicle~」の成功を機に、特定の「場所」の特性や「物語」と「先端技術」を融合させ、その場所でもしか味わえない特別な没入体験を提供する「ロケーションベースエンターテインメント」の領域にも展開を加速させていきます。今後も多方面にわたって様々なクリエイターとアライアンスを組み、Hibino Immersive Entertainment Lab を通じた開発を推し進め、エンターテインメント体験に新たな価値を創造してまいります。

開催概要

イベント名称	House of Vampire ～Dive into ENHYPEN Chronicle～
会期	2026年2月5日(木)～3月16日(月)
会場	新宿住友ホール B1F (東京都新宿区西新宿2丁目6-1)
公式サイト	https://www.hybejapan.events/enhyphen/immersive-houseofvampire
主催・企画・制作	株式会社 HYBE JAPAN
空間演出・体験設計	株式会社 IMAGICA EEX
映像・音響・照明技術	ヒビノ株式会社

ENHYPEN (エンハイプン) について



© HYBE JAPAN

JUNGWON・HEESEUNG・JAY・JAKE・SUNGHOON・SUNOO・NI-KIからなる7人組グローバルグループ。Mnetの超大型プロジェクト『I-LAND』から誕生し、2020年11月にデビュー。圧倒的なコンセプト表現力で世界中から愛され、2024年7月にリリースした2nd Studio Album『ROMANCE : UNTOLD』が初のトリプルミリオンセラーを突破。2024年10月から2025年10月にかけて開催された3回目のワールドツアー「WALK THE LINE」は、ドーム・スタジアムのような大型公演会場で計19都市32公演で全世界67万6000人余りを動員し、自身最大規模のワールドツアーを成功裏に終えた。特に、K-POPボーイグループでデビューから最速で日本3都市ドームツアーを回った後、海外アーティストの中でデビュー後最速(4年7ヵ月)で日本スタジアム公演を実現し、「公演強者」の地位を誇っている。続く7月にリリースされた日本4thシングル「宵 -YOI-」は、日本レコード協会10月度ゴールドディスク認定で自身初の「トリプル・プラチナ」認定を獲得。今年1月16日にリリースした7th Mini Album『THE SIN : VANISH』は自身4作目のダブルミリオンセラー作品となるなど、キャリアハイ更新を続けている。

HYBE JAPAN について



HYBE JAPAN は、音楽産業のビジネスモデルを革新するグローバルエンターテインメントライフスタイル・プラットフォーム企業HYBEの日本本社として、HYBE MUSIC GROUP APACをはじめとしたアーティストの日本での公演やオリジナルコンテンツ、IP などのソリューションを提供しています。HYBE 韓国本社が提供するグローバルコンテンツ・サービスを日本市場向けに展開することに加え、日本オリジナルコンテンツの企画・制作や、日本独自のマーケティングに基づいたサービスを提供し、グローバル化を推進しています。

IMAGICA EEX（イマジカ イークス）について



未来を思考し、クリエイティブとテクノロジーによって、プロトタイプから社会実装までパートナーとともに伴走し、社会課題の解決と豊かな未来を創造するエクスペリエンスデザインカンパニーです。

ヒビノについて



1964 年の設立以来「音と映像で、世界に感動をクリエイトする」というパーパスの下、音響と映像を中心とした製品・商品・サービスを展開。日本のコンサート・イベントの黎明期から業界をリードする音響・映像のパイオニアです。音と映像の可能性を切り拓き、常に新しい感動空間の創出に挑戦し続けています。

以上

【本リリースに関するお問い合わせ】

お客様からのお問い合わせ

ヒビノビジュアル Div.

E-mail : vfxstudio@hibino.co.jp

報道関係者様からのお問い合わせ

ヒビノ GMC 経営企画グループ 広報課

TEL : 03-3740-4391 (代表)

E-mail : ir@hibino.co.jp